

雑 報

法学会研究報告記事

(2018年4月～2019年3月)

2018年7月4日(水)

博士前期課程2年次春学期末

研究報告会

○景観保全の手法とその展開 — 景観地区の役割と特徴の整理を中心に — 大坪 舜

○中華人民共和国環境保護税法に関する研究 — 排污費制度との比較を中心に — 姜 醒東

○親会社の環境責任と法人格否認の法理 江 萍

○社外取締役の役割と責任 藤本ありさ

○欧州における政治アクターとしてのヴィシエグラード — 拡大するEUの二重の地域統合 — 福田さやか

2019年1月16日(水)

2018年度修士論文報告会

○ヴィシエグラード・グループの中興 — EUにおける地域統合の交錯 — 福田さやか

○「協議調整型景観政策」の手法と展開 — 自治体事前協議手続を中心に — 大坪 舜

○中華人民共和国環境保護税法に関する研究 — 排污「費」を踏まえた環境保護「税」の機能に関する考察 — 姜 醒東

○同一性保持権の処分に関する議論 山本かさね

○社外取締役の役割と責任 藤本ありさ

○親会社の環境責任と法人格否認の法理の適用 江 萍

比較法・外国法研究会記事

(2018年4月～2019年3月)

第173回 2018年4月28日(土)

○ユニバーサル・オーナーとしての生命保険会社とステュワードシップ責任：気候変動リスクへの対応を中心として 梅村 悠

第174回 2018年5月19日(土)

○法律家は、悪しきキリスト者 荒井 真

第175回 2018年6月23日(土)

○高校生が法(的思考)を学ぶ意義はあるのか：ドイツの中等教育から考えてみる

- 松本 尚子
- 第176回 2018年7月28日(土)
○国際仲裁制度の「仲裁」
性：国際投資仲裁の位置づ
けを中心に 土屋 志穂
- 第177回 2018年10月27日(土)
○ヨーロッパ法におけるゲノ
ム編集をめぐる課題 小林 真紀
- 第178回 2018年11月17日(土)
○親会社の環境責任と法人格
否認の法理の適用 江 萍
- 憲法規範のよすがになり得
るもの：フランス社会政策
に関する憲法院判決を事例
として 佐藤 朋代
- 第179回 2018年12月22日(土)
○フランス民法典の改正と新
たな理念の明文化 滝澤 正
- 第180回 2019年1月12日(土)
○フランスにおける医療情報
本田 まり
- 第181回 2019年3月23日(土)
○ドイツ民法施行法新8条に
おける任意代理の準拠法
福井 清貴
- 第55回 2018年4月14日(土)
○東京地裁判平成27年11月
26日判例タイムズ1425号
304頁 古澤 幸司
- 東京地判平成27年2月10
日 LEX/DB 文献番号
25505727 遠山 聡
- 第56回 2018年6月2日(土)
○東京地裁平成27年3月26
日 2015WLJPCA03268019
磯野 直文
- 東京地判平成19年11月
30日判例集未登載 高見 直史
- 第57回 2018年7月21日(土)
○規約上の自動更新条項と更
新拒否条項 ー一律掛金・
一律保障の共済を中心にー
坂本 貴生
- 生命保険契約の復活におけ
る自殺免責条項 村上 裕行
- 因果関係の判断方法 ー損
保系傷害保険を中心とし
てー 勝野 真人
- 第58回 2018年10月6日(土)
○東京高判平成29年6月30
日金融法務事情2087号74
頁 浅井 弘章
- 東京地判平成28年9月12
- 保険法研究会記事
(2018年4月～2019年3月)

- 日判例時報 2351 号 24 頁
中寺千賀子
- 第 59 回 2018 年 12 月 8 日 (土)
○広島高判平成 30 年 3 月 22
日金融・商事判例 1546 号
33 頁 大野 徹也
- 大阪地判平成 30 年 3 月 30
日金融・商事判例 1544 号
23 頁 天野 康弘
- 第 60 回 2019 年 2 月 2 日 (土)
○名古屋高判平成 29 年 4 月
20 日判例集未登載 吉川 良平
- 最判昭和 30 年 9 月 27 日金
融・商事判例 1555 号 8 頁
島 智久
- 刑事法研究会記事
(2018 年 4 月～2019 年 3 月)
- 第 1 回 2018 年 5 月 19 日 (土)
○判例レビュー (2017 年 10
月～2018 年 5 月前半)
- 判例研究：心神喪失者等医
療観察法における退院許可
処遇事件の審理の在り方
(最一決平成 29 年 12 月 25
日 (裁判所ウェブサイト、
裁判所時報 1691 号 19 頁、
判例秘書 L07210110、
LEX/DB25449158。刑集登
載予定) 三好 幹夫
- 判例研究：いわゆるエアロ
ジル事件について (最一判
昭和 63 年 10 月 27 日刑集
42 卷 8 号 1109 頁) 穴沢 大輔
- 第 2 回 2018 年 7 月 14 日 (土)
○研究報告：国際刑事法体系
における「人道に対する犯
罪」条文草案の歴史的意
義 一定義を中心として—
広見 正行
- 判例研究：子に対する保護
責任者遺棄致死被告事件に
ついて、被告人の故意を認
めず無罪とした第 1 審判決
に事実誤認があるとした原
判決に、刑訴法 382 条の解
釈適用を誤った違法がある
とされた事例 (最二小判平
成 30 年 3 月 19 日裁時
1696 号 3 頁、裁判所 Web)
三好 幹夫
- 研究報告：刑事法過程と精
神医療 水留 正流
- 第 3 回 2018 年 9 月 29 日 (土)
○判例研究：最二小判平成
30 年 7 月 13 日裁時 1704
号 184 頁、裁判所 Web に
ついて 角田 正紀
- 研究報告：不真正不作為犯
について 町野 朔

- 判例研究：不作為による死
体遺棄罪に関する近時の事
例（大阪地判平成28年11
月8日LLI/DB L07150974）
牧 耕太郎

第4回 2018年11月17日（土）

- 判例レビュー（2018年5
月後半～11月前半）
- 判例研究：詐欺罪における
実行の着手（最判平成30
年3月22日刑集72巻1号
82頁） 伊藤 渉
- 研究報告：仮想通貨と犯罪
穴沢 大輔

第5回 2019年1月12日（土）

- 判例研究：危険運転致死傷
罪の共同正犯（最判平成
30年10月23日裁判所ウ
ェブサイト） 三好 幹夫
- 判例研究：被害物の受領行
為にのみ関与した者におけ
る詐欺罪・詐欺未遂罪の共
同正犯の成否 日和田哲史

第6回 2019年3月16日（土）

- 研究報告：科学的な探知技
術の高度化と強制処分 ～
最高裁平成29年3月15日
大法廷判決刑集71巻3号
13頁を踏まえた立法的観
点からの検討～ 古田 佑紀

- 研究報告：責任能力が問題
となる少年に対する審判に
ついて—近時の裁判例など
を参考として— 岩瀬 徹

国際法判例研究会記事

(2018年4月～2019年3月)

2018年6月23日（土）

- 国際刑事法体系における
「人道に対する犯罪」条文
草案の歴史的意義 一定義
を中心として— 広見 正行
- NPTの軌跡と展望 岡松 暁子